

10
下月号
聖徒伝 169

「主の御救いを 喜び楽しもう」

イザヤ書25章 救い主なる神

アウトライン

I. 聖書とは何か

II. 預言とは何か

III. 救いの預言 25章

IV. まとめと適用

イエス・キリストの
救いを喜び楽しもう

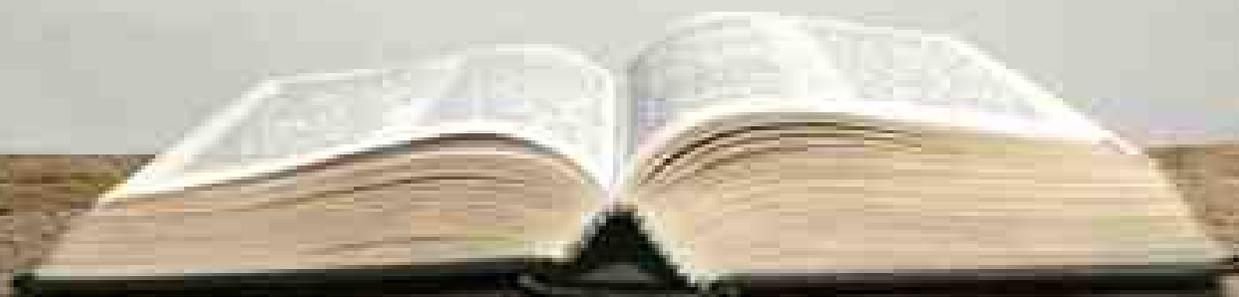




1. 聖書とは何か？

聖書とは？

- 旧約聖書と新約聖書からなる、神の**約束**の書。
 - **メシア** (キリスト・救い主) の誕生前と誕生後で区分
- 全部で66巻の書物からなる。旧約(39巻)、新約(27巻)
- 約1600年の間に、数十人の様々な立場の人によって書かれた。
 - それにも関わらず、内容には一貫した**統一性**がある。



聖書の世界観には、初めがあり、終わりがある

天地創造

人類の墮罪

キリストの
十字架の
死と復活

世界の回復
(完全な神の国)

キリストの再臨

今の時代(教会時代)

ゴールは、世界の回復、完全な永遠の「神の国」



世界のはじめ
神が 天と地を造り、
すべての生き物と人間を
造られた。

どんな木の实も食べていい。
しかし、
「善悪を知る木の实」だけは
食べてはいけない。

それが神と人との
約束だった。



ところが
最初の人・アダムは、
サタンに だまされ
神との約束を破り、
食べてはならない
木の実を
食べてしまった。

**“神との
約束を破った”**
→これが最初の**罪**



約束を破った人は
神から切り離された。

神との断絶が、「死」

命の源の神から離れたため、
人は苦しみ、
肉体も滅びに向かっていく。

人は生きていても、
本当は“死んでいる”



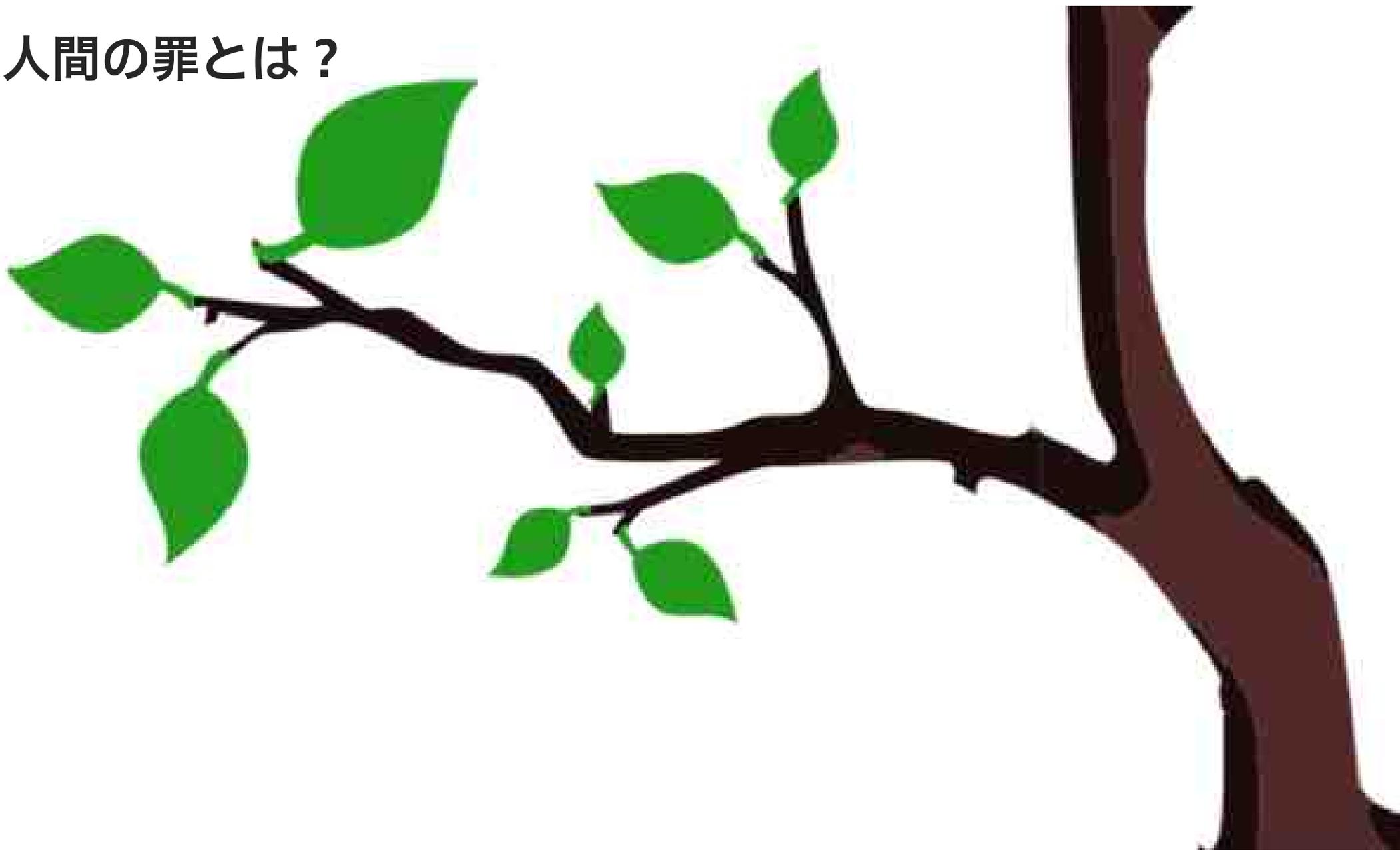
しかし、神は
人を見捨てなかった。

いつか必ず、**救い主**
(メシア、キリスト)を
送ると約束された。

「わたしは敵意を、おまえと
女の中に、おまえの子孫と**女**
の子孫の間に置く。**彼**はおま
えの頭を打ち、おまえは**彼の**
かかとを打つ。創世記3:15」

メシアは犠牲を払って
人を罪と悪から解放される

■人間の罪とは？



■人間という枝が、つけ根(アダム)から、
ぽっきり おれてしまった。

■これが、アダムが、
罪をおかしたということ。



■ 折れた枝を放っておけば？



■腐っていくだけ!!

■罪をおかして、神さまから離れてしまった人間を放っておけば、滅びてしまう!!



- そこで、神は、動物を犠牲にして、人間が、神につながっていられるようにした。



■でも、動物の犠牲は、罪をおおうだけ

■人間という枝は、だんだん、よわっていく…。

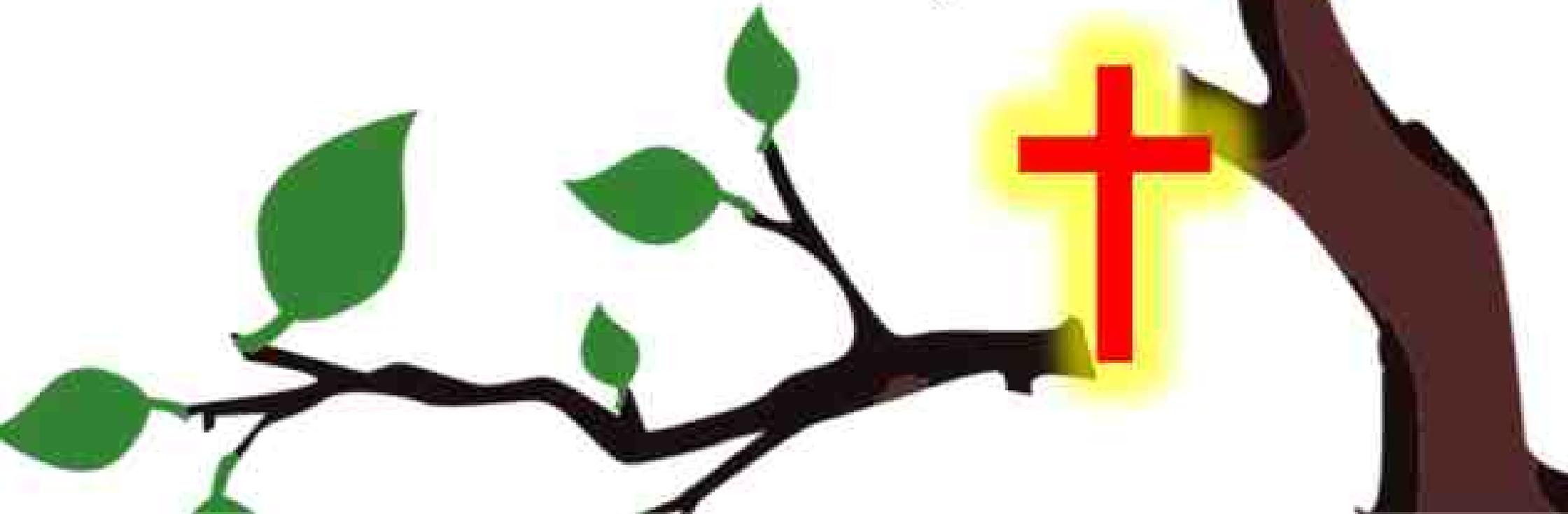


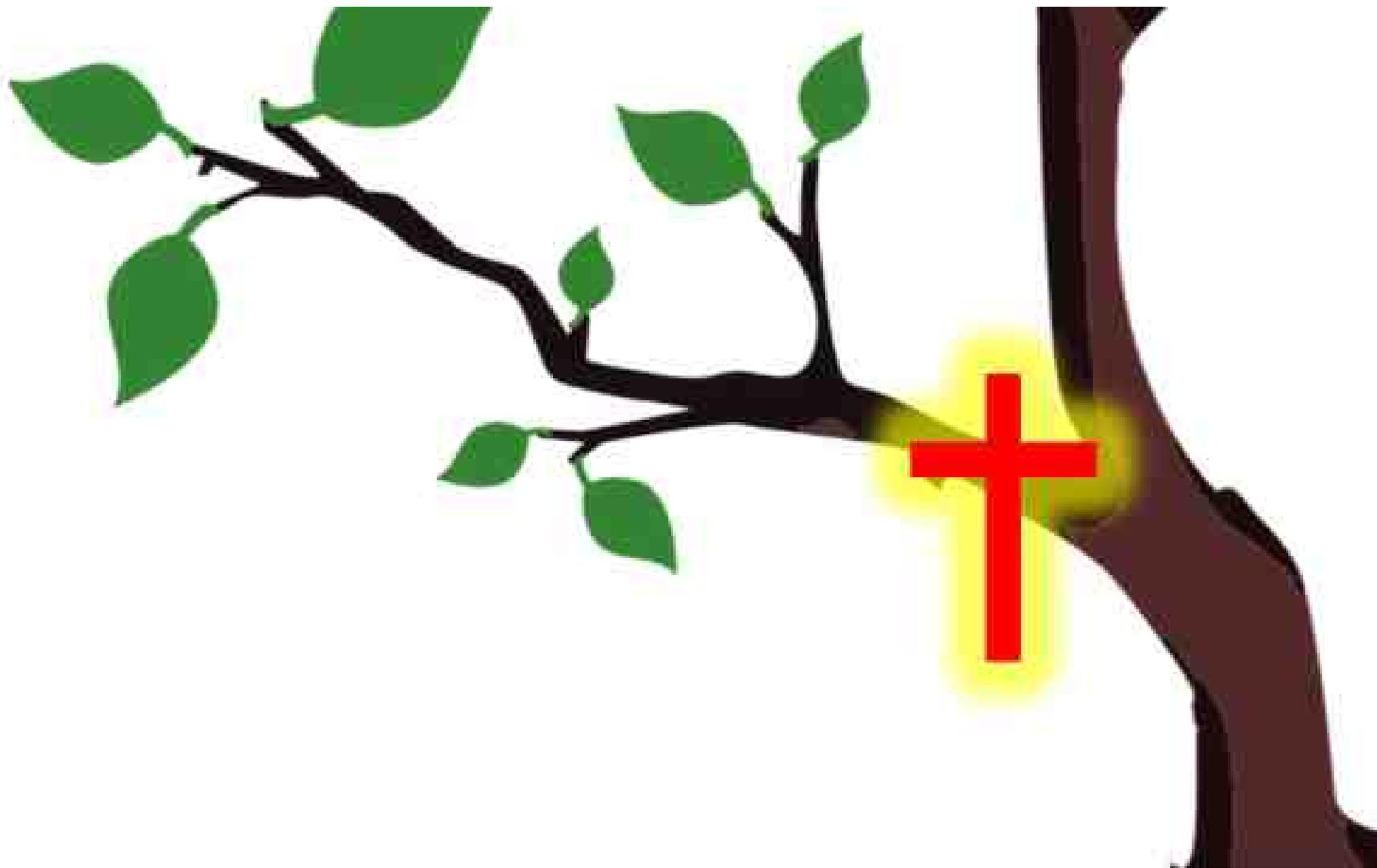
■折れてしまった、人間という枝が、
完全に回復するためには？

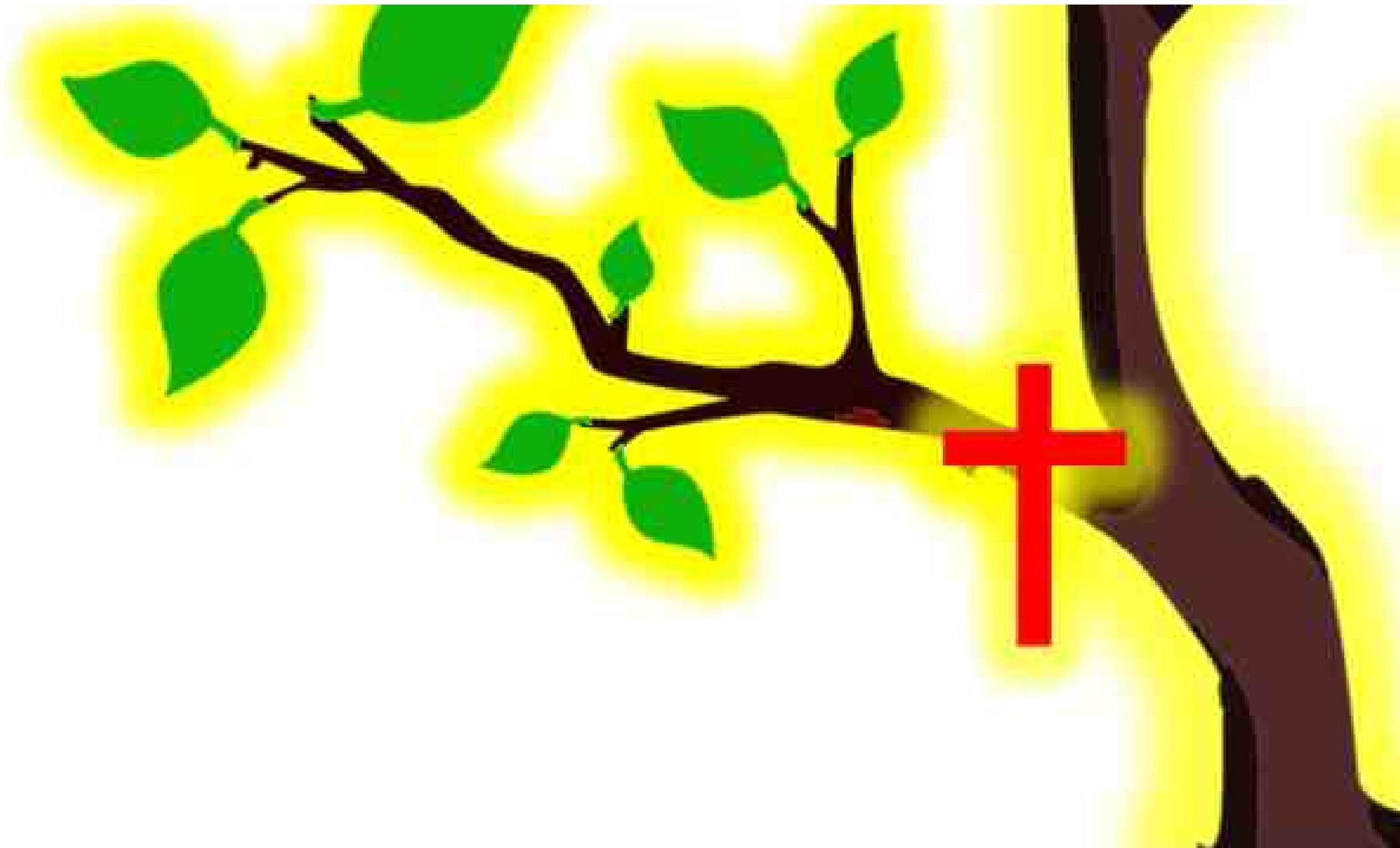
■そのために来られるのが、
神であり、人であるメシア、キリスト!!



- キリストは、十字架の血で、人間の身代わりとなって、罪をあがわれる。
- 100%神であり、100%人間であるキリストは、神と人間を、完全に、つなげられる。







すべての人間は、滅びに瀕している

- アダムの罪以来、人は神と断絶されている。
- すべての人を待っているのは、滅び。
- すべて的人是、いわば、死を免れない死刑囚。
死刑囚が、死刑囚の身代わりにはなれない。
- 神であり人であるメシア、罪なきキリストだけが、
断絶された人を、再び神につなげることができる。





その後も、人は
神の造られた
すばらしい世界を
悪くするばかりだった。

人の良心も、人の国家も
真実の平和を地上に
もたらせはしなかった。
人に平和は造れない。

あらゆる文明は滅びてきた。
世界遺産とは、
滅んだ文明の過去の遺物

神の人類救済計画

■ **アブラハム**という一人の人物を選び、アブラハムから一つの民族を育み、その民族の子孫から、**救い主・メシア**を送るということ。

→この民族こそ、神の民**イスラエル**

「地のすべての部族は、あなたによって祝福される。創12:3」

神の計画の中心が、イスラエル!!



神への反逆者・サタン

- 人をだまし、罪を犯させたのが、**サタン**。
→ 神に反逆し、地に堕ちた大天使
- 創造主である神にはかなわないので、神が愛する人間を破壊しようとする。
- **サタン**は、**メシア**の登場を防ぐため、常に**イスラエル**を滅ぼそうとしてきた。

そして、人を救いから遠ざけようとする。



エジプトからの脱出

- イスラエルは、飢饉のために、一時、エジプトに逃れ、400年間を、奴隷として過ごした。
- 一大民族に成長したイスラエルを滅ぼそうとしたエジプト王(パロ)は、逆に、神によって厳しく裁かれた。
- イスラエルは、神に導かれ、エジプトから脱出し、約束の地へ向かった。



祭司とされたイスラエル

- 神は、シナイ山で栄光を表され、イスラエルに、「**律法**」を与えた。
- **律法**は、神について教え、イスラエルを導く決まりだった。
- 神は、イスラエルに、人類を神にとりなす、**神と人との仲介者 = 「祭司」**としての役割を与えた。



イスラエルはやがて、約束の土地カナンに王国を建設。
エルサレムに神殿を築き、栄えた。



【なぜ、この地なのか？】

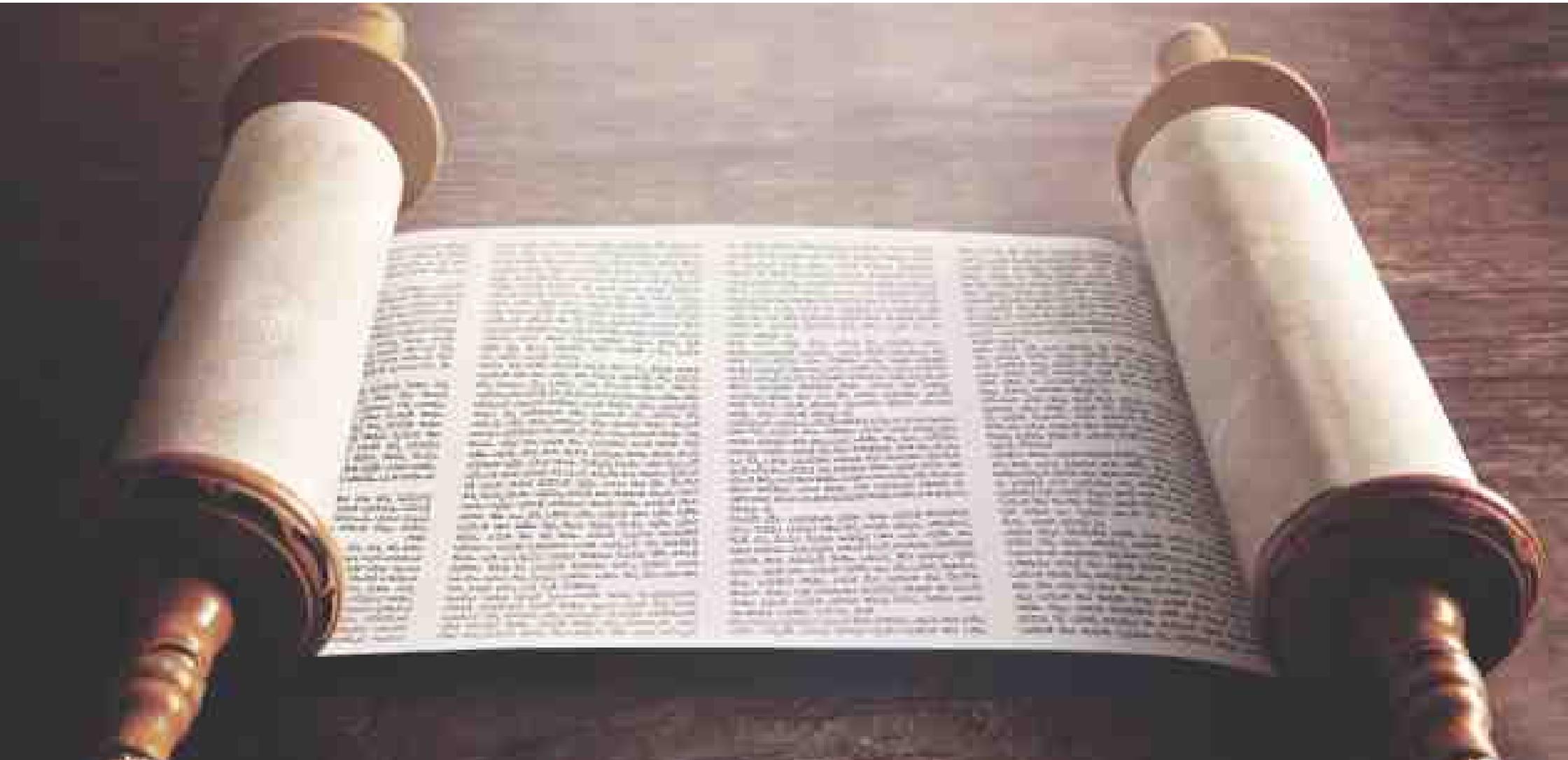
ギリシャ
ローマ

アッシリア
バビロニア

イスラエル

エジプト

様々な文明が重なり合う、世界の交差点



II. 預言とは何か？

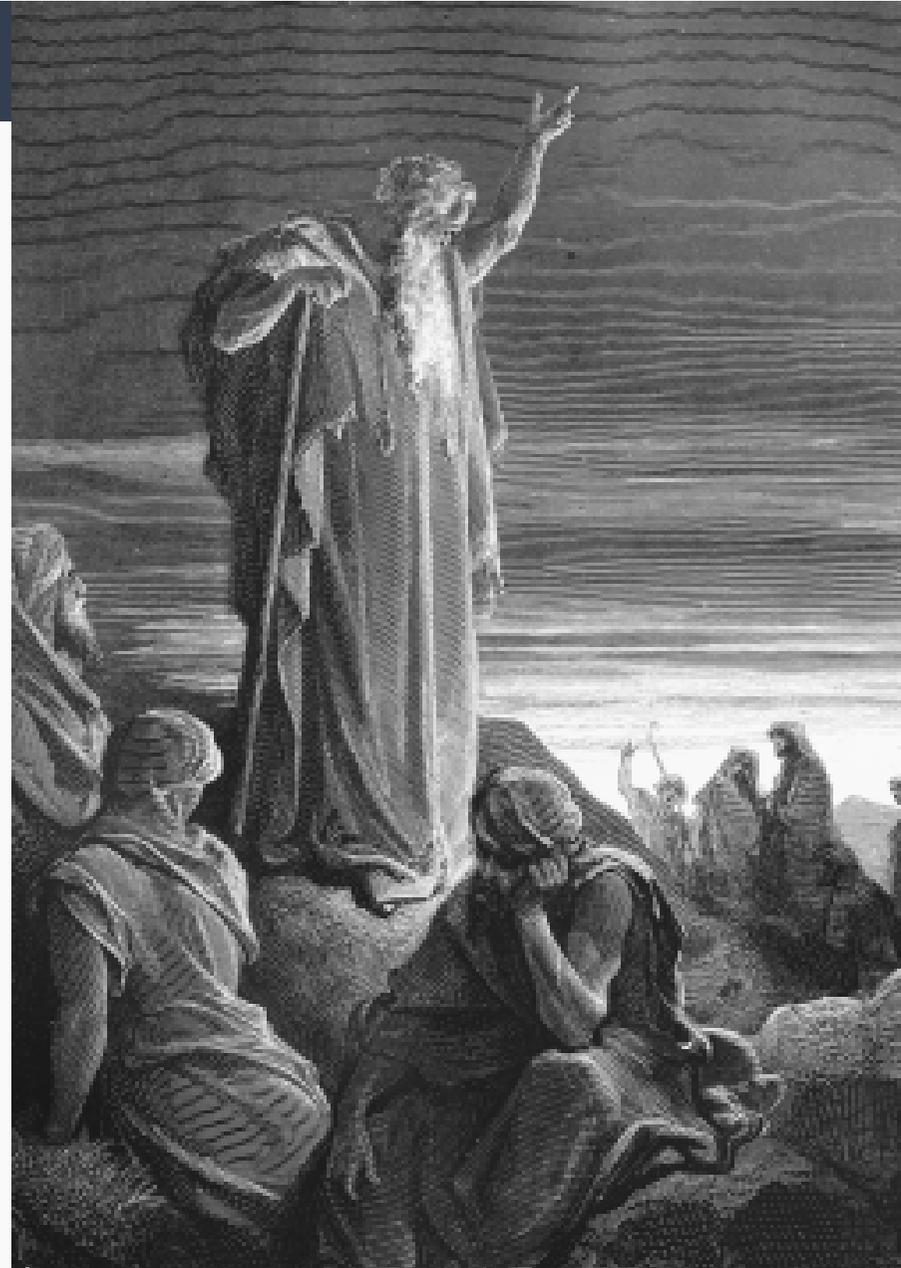
イスラエルの罪と預言者

- イスラエルは、神に背き、人が造った**偶像**を拝んだ。
偶像とは、具現化された人間の欲望。
- 王国は分裂し、混沌に陥った。
なおも罪を重ねるイスラエルに、神は、少数の残れる信仰者を用い、何度も警告を下された。
- それが**預言者**。
→神から預かった言葉を伝える者。



預言者たちが伝えたこと

- ① イスラエルに裁きが**間近**に迫っている。
王国は滅ぼされ、民は捕囚となる。
- ② **世の終わりに**、神が世界を裁かれる。
すべての悪は地上から取り除かれる。
- ③ **最終的に**、イスラエルが神に立ち返る。
メシアが世界の王となり、メシアを
信じたイスラエルとすべての人々が、
神の王国に招き入れられる。



内容が混沌として、理解が難しい預言だけれど…



預言は、三つの時代の事を語っている!!



南北時代



① 直近の
苦難

メシア初臨



② 主の日
大患難時代



③ 回復
メシア再臨

預言者イザヤとは？

- イザヤ = “ヤハウエ (神の名) は救い”
- 分裂したイスラエルの北王国が滅び、残された南王国も滅びに向かう時代に派遣された。
- 前もって神が告げたのは、イザヤが告げる預言をイスラエルは拒むということ。
「行って、この民に告げよ。『聞き続けよ。だが悟るな。見続けよ。だが知るな』と。イザヤ6:9」

拒まれるのが前提の過酷な使命に遣わされた!!



イザヤが告げた間近な危機!!

- 北王国は、アッシリアによって滅亡。
→ 先の預言者たちが告げ、
イザヤの時代に成就。
- 南王国は、アッシリアを滅ぼす、
バビロニアによって滅ぼされる。
- 都エルサレムも神殿も破壊し尽くされ、
多くの人々が捕囚として強制連行される。

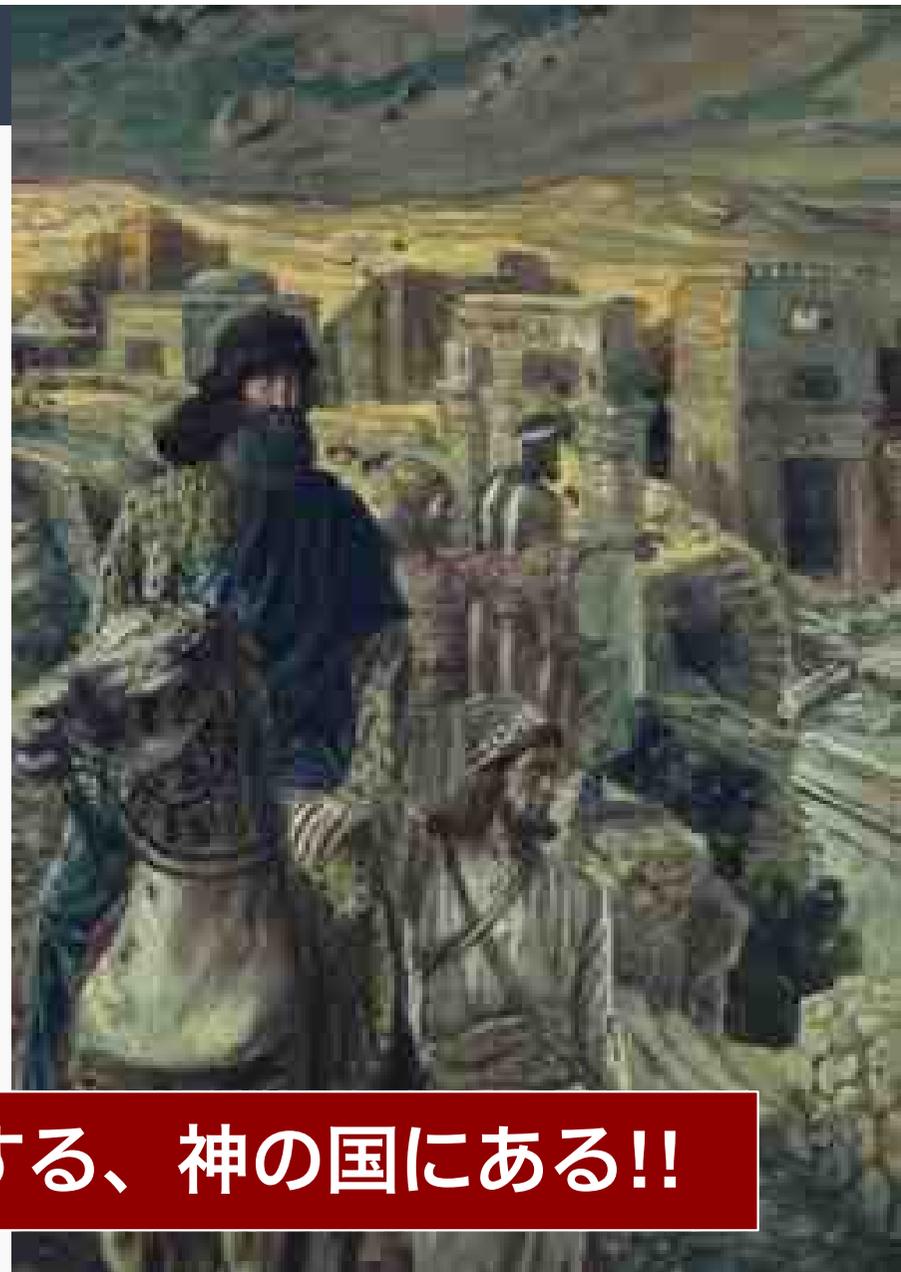


100～200年後の出来事をイザヤは告げ、その通りに起こった!!

イザヤの預言の希望

- 捕囚の民は、**70年後**、解放される。
→ペルシャがバビロニアを滅ぼした。
- **世の終わり**、かつてない神の裁きをイスラエルは通過するが、残れる信仰者が、民族的回心に至る。
→イスラエルの長年の罪は赦される。
- メシアが世界の王となり、イスラエルを中心に**神の王国**を建てる。

最終的な希望は世の終わりに実現する、神の国にある!!



イザヤが告げたメシア預言

- メシアは、一人の**処女**から生まれる。
- メシアは、イスラエルの北部にある**ガリラヤ**という辺境の地で活躍する。
- メシアは、**神と等しい**存在であり、世界に永遠の**神の王国**を建てられる。
 - ➔ 世界中に散っていたイスラエルが神の都エルサレムに集められる。
- 世界中の人々が**王**であるメシアに従う。





III. 救いの預言

イザヤ書25章

紀元前の最古の聖書写本・イザヤ書

メシア的王国 計画の成就 イザヤ25:1

【主】よ、あなたは私の神。私はあなたを
あがめ、御名をほめたたえます。あなたは
遠い昔からの不思議なご計画*を、まことに、
真実に成し遂げられました。

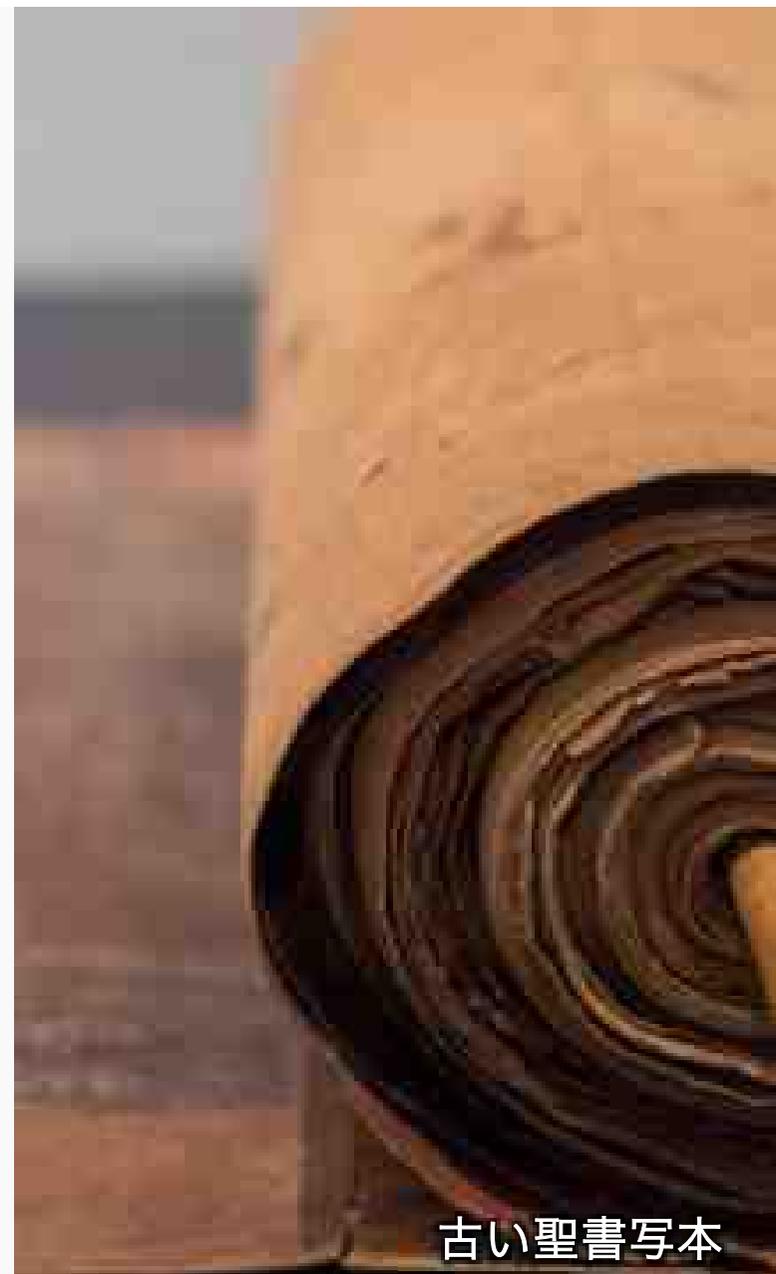
*世界が造られる前から始まり

世界が完成する時にまで至る計画

■まだ起こっていない出来事を

すでに起こったこととして告げるイザヤ。

時間を超越した神の視点で語られる!!



古い聖書写本

メシア的王国 王なる主 イザヤ25:2~3

あなたは町を石くれの山とし、城壁のある都を廃墟にされたので、**他国人の宮殿は町から失せ***、もう永久に建てられることはありません。

それゆえ、力強い民もあなたをほめたたえ、横暴な国々の都もあなたを恐れます。

*人々の王はメシアのみ。

➡すべての民は、主だけをたたえる。

■人が造ったあらゆる文明は滅び失せる。
メシアの都だけが、永遠に建てられる。



古代都市の遺跡(イスラエル)

メシア的王国 神の支配 イザヤ25:4~5

あなたは弱っている者の砦、貧しい者の、苦しみのときの砦、嵐のときの避け所、暑さを避ける陰となりました。横暴な者たちの息は、壁に吹きつける嵐のようです。

砂漠の日照りのように、あなたは他国人の騒ぎを抑えられます。暑さが濃い雲の陰で鎮まるように、横暴な者たちの歌は鎮められます。

■ 神があらゆる困難から、神を信頼する者を完全に守られる。

→ 滅びが迫る中で、イザヤは宣言した!!



イスラエルの砂漠

メシア的王国 神の宴 イザヤ25:6

万軍の【主】は、この山の上*で万民のために、脂の多い肉の宴会*、良いぶどう酒の宴会*、髓の多い脂身とよくこされたぶどう酒の宴会*を開かれる。

*イスラエルの都エルサレム

*神と神の王国の人々との“宴会”

■世界中の人々が神の都エルサレムに集い、神から与えられた恵みを存分に味わう。



エルサレム・オリーブ山

メシア的王国 永遠の命 イザヤ25:7

この山の上で、万民の上をおおうベール*を、万国の上にかぶさる覆い*を取り除き、永久に死を呑み込まれる*。

*神と人との間を妨げていた覆い。

*主を信頼した者はすべて、神の王国で死から解放され、永遠の命を生きる。

■最終的には、死も、死の世界も、すべての悪と不信仰者と共に神によって永遠に滅ぼされる。



エルサレム・オリーブ山

メシア的王国 御救い イザヤ25:8

【神】である主は、すべての顔から涙をぬぐい取り、全地の上からご自分の民の恥辱を取り除かれる*。【主】がそう語られたのだ。

■ 来たるべき神の王国では、涙はない。

「神は彼らの目から涙をことごとくぬぐい取ってください。もはや死はなく、悲しみも、叫び声も、苦しきもない。黙示録21:4」

■ イスラエルは、二度と神に背くことはない*。

神に従い、神を慕い求め、祝福される。



メシア的王国 | メシアの救い イザヤ25:9

その日、人は言う。「見よ。**この方***こそ、待ち望んでいた私たちの神。私たちを救ってください。 **この方***こそ、私たちが待ち望んでいた【主】。その御救いを楽しみ喜ぼう。」

■ **メシア***が、イスラエルを救いに導く。

→メシアは、神であり、永遠の王。

■ 神の王国で、人々に求められるのは、メシアの救いを楽しみ喜ぶこと!!



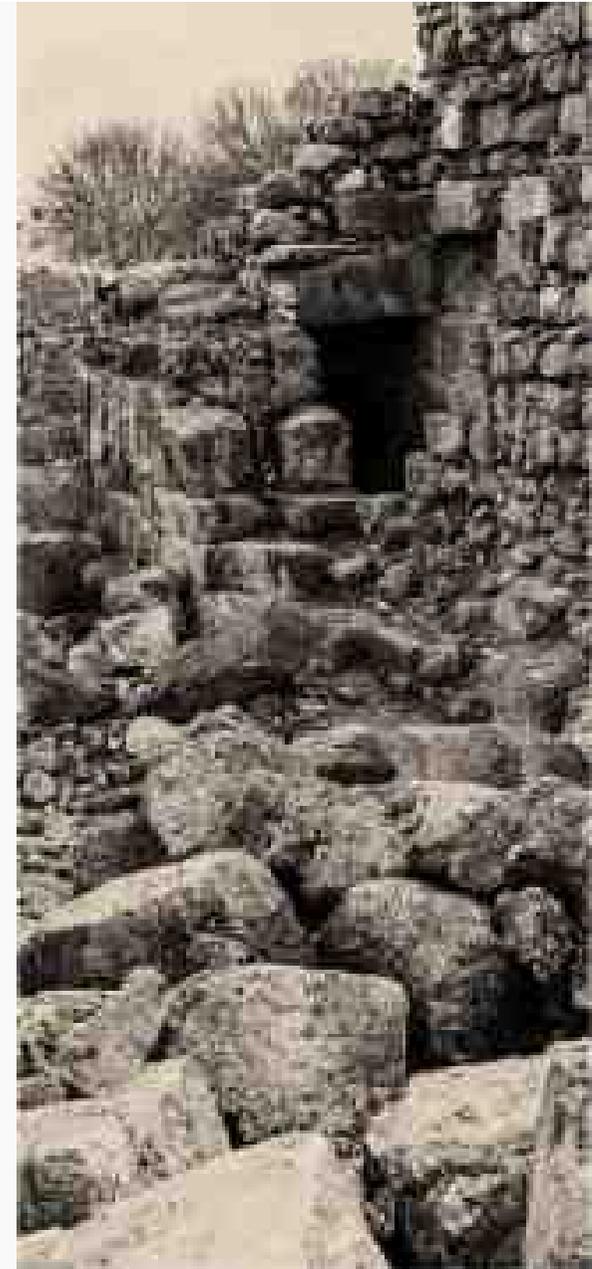
神の裁き モアブの裁き イザヤ25:10

【主】の手がこの山にとどまるとき、モアブ*はそこで踏みつけられる。藁が汚水の中で踏みつけられるように。泳ぐ人が泳ごうとして手を伸ばすように、モアブ*はその中で手を伸ばす。しかし主は、その手の巧みさも、その高ぶりも低くされる。

おまえ*の要塞、そそり立つ城壁を主は引き倒して、低くし、地に投げつけて、ちりにまでされる。

*イスラエルに敵対し、苦しめていた代表的民族。

■傲慢にも神に背いた者は、力も富も失い、滅ぼし尽くされてしまう。





Ⅲ. まとめと適用 イエス・キリストの救いを楽しみ、喜ぼう

ゲツセマネ・オリーブの古木

成就されたメシア預言

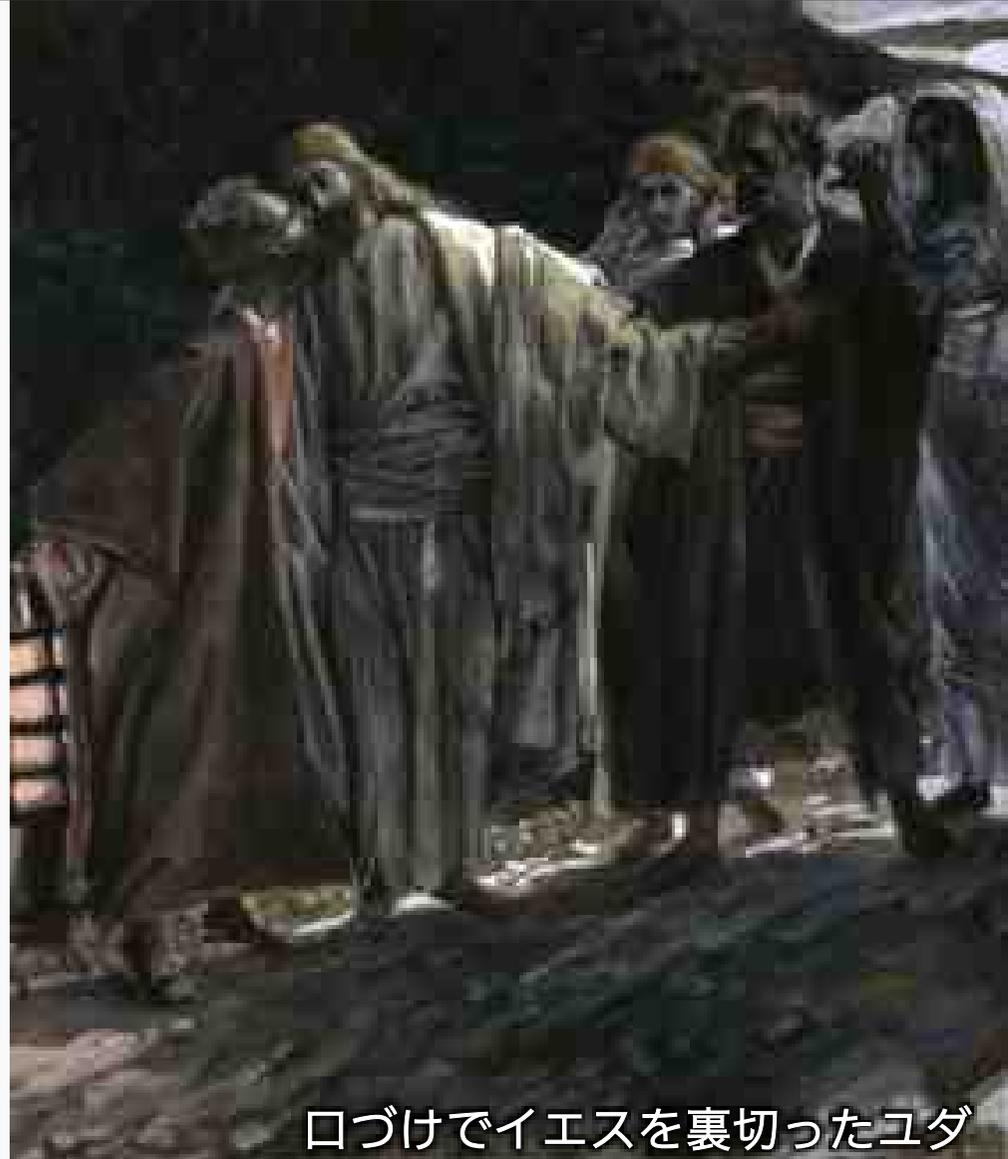
- イザヤの時代から700年後、イスラエルのメシアが現れた。
- 数々の預言で告げられた通り、イスラエルの小さな町ベツレヘムで、イスラエルの王の血を引く者として、おとめマリアから誕生された。
- メシアとは、神が人となられた存在。神は、人の罪の身代わりとなるため、無力な赤ん坊として世に来られた。



イエスこそ
メシア、キリスト

メシアを拒んだイスラエル

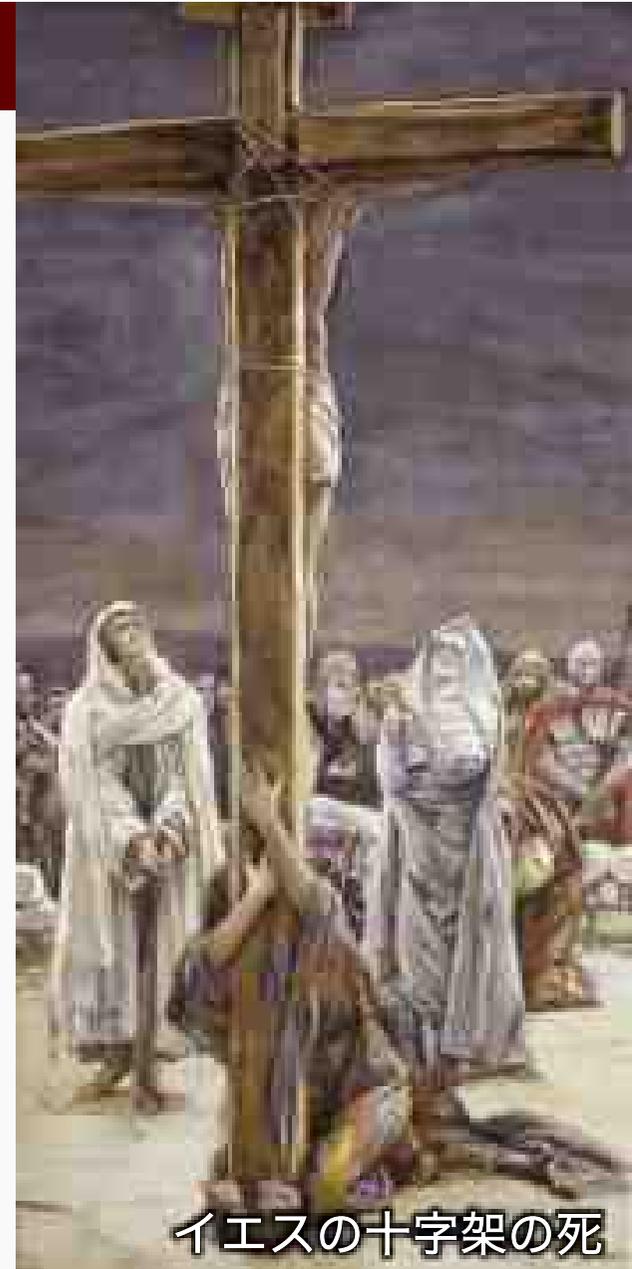
- イエスは数々の**奇跡**を行い、**メシアの証拠**を見せられた。
- しかし、**イスラエルは拒絶**した。
信じた者は、わずかだった。
- 弟子のユダに裏切られ、
イスラエルと支配者ローマにより、
イエスは裁かれ、まったく何の罪も
見いだされなかったにも関わらず、
ローマの**十字架刑**を宣告された。



口づけでイエスを裏切ったユダ

成し遂げられたメシアの救い

- イエスは、罪人にくだる神の怒りの杯を私たちに代わって飲み干された。
→それが十字架による罪の贖い。
- 十字架でイエスはなお叫ばれた。
「父よ、彼らをお赦してください。
彼らは、自分が何をしているのかが分かっていないのです。ルカ23:34」
- イエスは、イスラエルと全人類の罪を負って死に、メシアの使命を全うされた。



イエスの十字架の死

メシアの復活・昇天・再臨

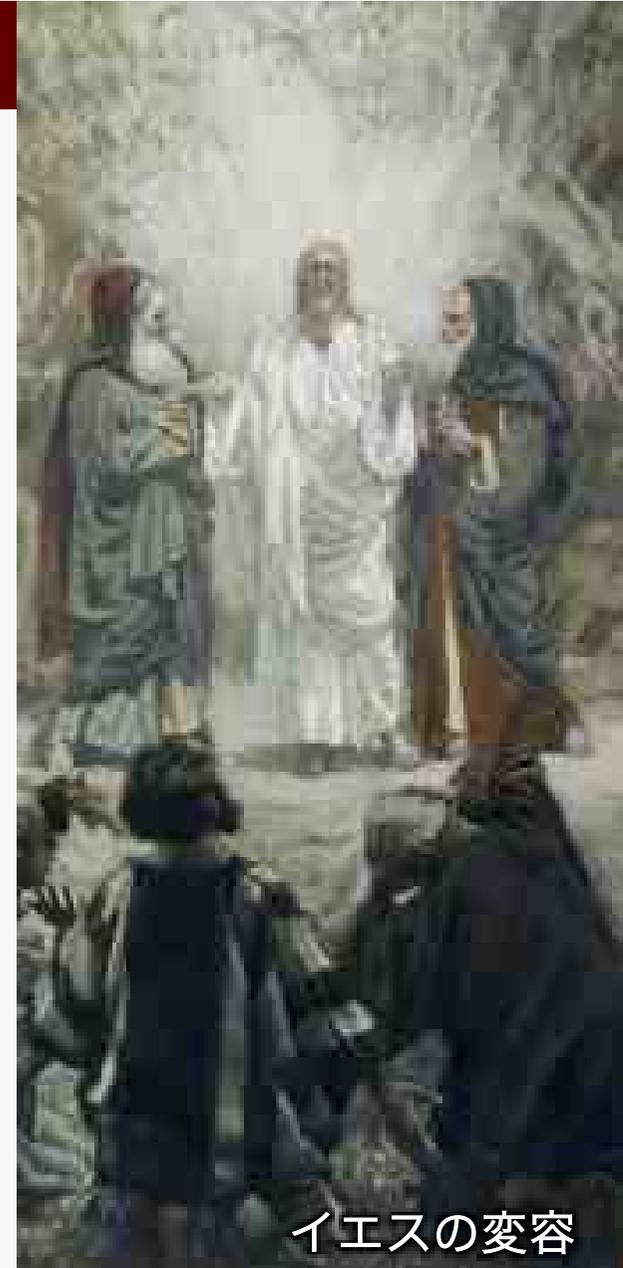
- 人として死んだイエスは、死を打ち破って栄光の天の体で**復活**された。
弟子たちに最後の教えを宣べた後、**昇天**された。
- 世の終わり、空前絶後の神の裁きの時代を経て、イスラエルが回心し、イエスをメシアと信じる。イエスは、栄光の姿で王の王として**再臨**する。
- メシアは、神の王国を建て、イスラエルを都に住まわせる。イエスをメシアを信じた者は皆、永遠に、神の平安と恵みの内に喜びを生きる。



イエスの昇天

全人類の二つの行く末

- メシアを神として信頼した者は、この肉体が滅びた後、パラダイスに行く。
 - ➔ メシアが建てた神の王国で天の体で復活し、**永遠の命**を、喜びの内に生きる。
- メシアを拒み通した者は、肉体が滅びた後、死の闇の世界に行く。
 - ➔ 最終的に、メシアによって裁かれ、**永遠の滅び**の世界に落とされる。



イエスの変容

メシアが成し遂げた救いの福音

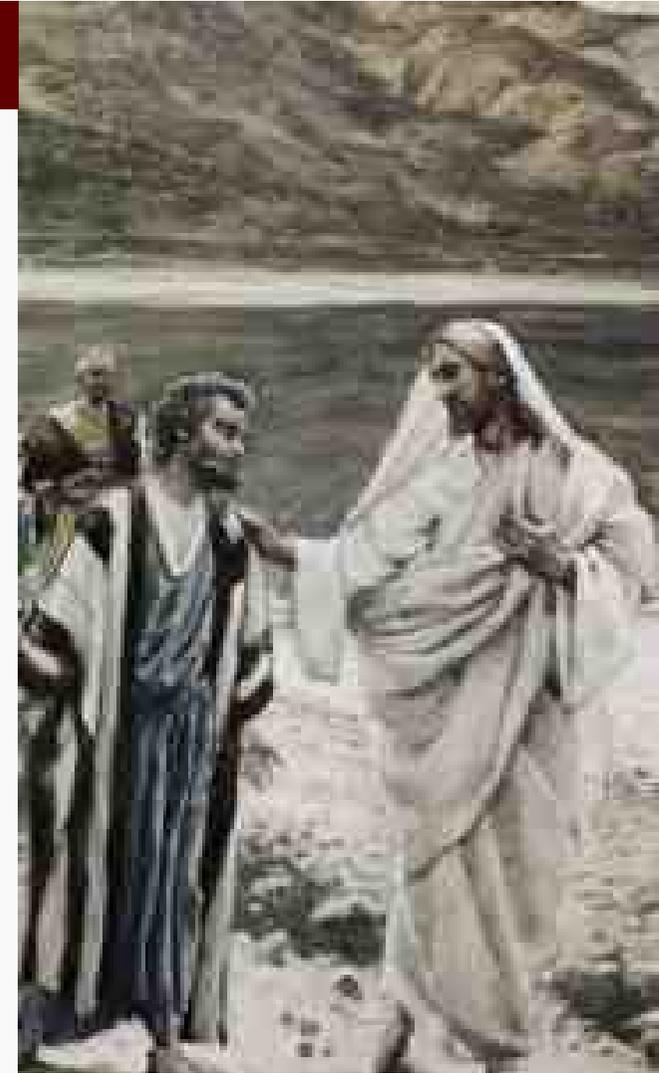
■ “神である主イエス・キリストは、私の罪のために十字架で死なれ、墓に葬られ、三日目に、死を打ち破って復活された。”

→ 人に救いをもたらす**福音**(よい知らせ)

■ すべての人に神が求められているのは、

- ① 自分は、滅びゆく罪人だと認めること。
- ② 私の罪のためにキリストが十字架で死に、復活したと**福音**を信じること。

福音を信じた者は、救われ、永遠の命を約束される



復活のイエスと弟子のペテロ

イエス・キリストの約束

■ マタイ福音書16章26～27節

人は、たとえ全世界を手に入れても、自分のいのちを失ったら何の益があるでしょうか。そのいのちを買い戻すのに、人は何を差し出せばよいのでしょうか。

人の子は、やがて父の栄光を帯びて御使いたちとともに来ます。そしてそのときには、それぞれその行いに応じて報います。

※人の子…人となられた神・イエス

★ 預言者が告げた希望・メシアに信頼しよう ★

- 破滅が迫る苦難の時代に、預言者イザヤが託した希望。
それは、メシアによる救い。罪の赦し。神の王国での永遠の命。
- 預言者たちが告げた通り、メシア、イエス・キリストは来られた。
イエス・キリストは、私の罪のために十字架で死に、復活された。
メシアは、天に昇られた時と同じ、栄光の姿で再び来られる。
神の王国を建て、**福音**を信じたすべての者を永遠に住まわせる。
- 罪に満ちた世界と人を、神がなおも支え、保ってくださっている。
恵みに生かされる生涯の内に、**福音**を信じ、救いの喜びを得よう。
神の約束に支えられて、地上のどんな困難も歩み通して行ける。

「見よ。**この方**こそ、待ち望んでいた私たちの神。
私たちを救ってくださる。

この方こそ、私たちが待ち望んでいた【主】。
その御救いを楽しみ喜ぼう。」

イザヤ書25:9

「^{てん}天の^{とう}お父さま。わたしは、あなたに^{そむ}背き、^{つみ}罪を^{かさ}重ねてきました。
^{ひび}日々^{おか}犯してしま^{つみ}う罪をも^{こくはく}告白します。この^{つみ}罪をゆるしてください。

わたしは、^{かみ}神の^こみ子イエス・キリストが、
^{つみ}あがな^{じゅうじか}し

①わたしの罪を贖うために十字架で死に、

^{はか}ほうむ

②墓に葬られ、

^{みつかめ}ふっかつ

③三日目に復活した^{しん}こと、を信じます。

イエス・キリストこそ、^{わたし}よげん
イザヤが預言したメシアです。

^{てん}の^ぼ天に昇られた^{とき}おな
時と同じ、^{えいこう}すがた
栄光の姿で^{ふたた}こ
再び来られます。

^{かみ}おうこく
神の王国の王として、^{おう}
^{えいえん}いのち
永遠の命の^{よろこ}喜び
を私に^{わたし}
味わわせてくださいます。

^{かみ}やくそく
この神の約束に^{しんらい}
信頼し、^{よろこ}し
この喜びの知らせを^{つた}もの
伝える者としてください。

^{しゅ}主
主イエス・キリストのみ名によって^{いの}
祈ります。 アーメン」